

国際観光旅客税を活用した観光課題対策等への支援の強化について

【担当省庁】文部科学省、国土交通省

京都府・京都市共同提案

観光立国実現に向けて創設された国際観光旅客税の増収を図り、一部地域への観光客の集中や観光業界の人材不足などの観光課題への対策を強化いただくとともに、文化観光をはじめ、多様な地域資源を活かした観光振興が図れるよう、使途を拡大していただきたい。

【現状・課題等】

- 令和7年の訪日外国人観光客は、過去最高となった前年を上回る勢いが続く中、京都府では京都市と連携し、京都市内の一部地域に集中する観光客を分散させるため、周遊観光ツアーの造成・販売に対する支援や、SNS等を活用した情報発信により、周遊観光の促進に取り組んでいるところ。
- また、府内各地の有形・無形の文化財、文化資源を活用した文化観光や府域共通の観光資源でもある「食」を目的とした観光誘客など、地域特有の観光資源の魅力を活かした観光振興の推進にも取り組んでいる。
- 令和5年11月に国が取りまとめた「オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策パッケージ」においても、地方部への誘客を推進することとされており、「地域観光魅力向上事業」においても地方部の取組を優先採択するとされているが、京都府は全域が地方部以外とされている。地方部については市町村単位で認定するなど、都道府県内の一部地域への偏在傾向が存在することも考慮した、きめ細かな対応を求める。
- 観光関連事業の全国的な人手不足に対応するため財政措置の拡充が必要。

京 都 府 の担当課	文化生活部 文化政策室(075-414-4215) 文化芸術課(075-414-4216) 商工労働観光部 観光室(075-414-4854)
---------------	--

【国の事業等】

■概算要求

▶国際観光旅客税〔観光庁〕700億円

観光先進国の実現に向けた観光基盤の拡充・強化を図るための財源を確保する観点から国際観光旅客等の出国1回につき1,000円の負担を求める。

- ① ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備
- ② 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化
- ③ 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等における地域での体験滞在の満足度向上の3つの分野に観光財源を充当。

【京都府の取組】

■府市連携「まるっと京都」推進事業（令和7年度予算75百万円）

京都府・京都市で連携し、更なる観光客の分散化に向けて、場所や時間の分散化を推進

■文化観光推進事業（令和7年度予算8百万円）

文化庁移転を契機に、これまで取り組んできた文化財を活用した観光誘客をさらに発展させ、京都ならではの本物の文化を体験できる文化観光を推進

■「食の京都」推進事業（令和7年度予算40百万円）

府域共通の観光資源でもある「食」を目的とした観光誘客を促進するため、「食の京都」をキーワードに地域のいちおし食材等を活用した地域の魅力向上・消費地での認知度向上を図る取組を実施

■インバウンド対策事業（令和7年度予算29百万円）

インバウンドの効果を府域全体に行き渡らせるため、情報発信をはじめとするプロモーションを実施

■京都観光アカデミー運営事業（令和7年度予算7百万円）

持続可能な京都観光の実現に向け、観光業従事者を対象とした研修等の情報発信や観光人材の育成等を実施

■文化連携推進事業（令和7年度予算4百万円）

オール京都の推進体制である文化庁連携プラットフォームで取り組む「寛永行幸四百年祭」等のプロジェクトを推進する。

■京都国際アート市場活性化事業（令和7年度予算107百万円）

世界各国のコレクターの来京を促す「京都国際アートフェア」等を開催し、京都で育てた作家が国際的に評価される仕組みを構築するとともに、京都の秋をアートで彩る取組を展開する。